

## 令和元年度 学校評価における年度末評価の報告

点検・評価項目	自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項 (特徴・特色・特殊な事情等)
	優れている・・・3 適切・・・2 改善が必要・・・1		
各企業（人事部）と木更津公共職業安定所との連携について、その他	3	求人に関して今年度も、求人依頼が多く、新規の企業と技術・製造系とサービスの求人依頼が目立った。特に生徒に対しては、早い段階から時間をかけて一つの業種にこだわらず、多く求人票を見るように指導した。そして、会社見学に複数社、参加するように指導し、受験の企業が決定した後、応募書類の準備をさせ、入社試験に備えさせた。女子生徒の就職希望者が増えたので、来年度は特に早めに女子の受け入れが可能な企業開拓が必要である。また、活動が鈍い生徒についても日々の進路指導が必要。来年度の夏期講習について、一日の講習時間を4校時から3校時に変更を考えている。実践的な内容を考慮中である。	地元の生徒を多く採用する傾向が目立った。その背景には、専門的な技術者として育成してもある程度、技術を習得すると地方に帰省するので、地元出身者の採用を多くしている。また、女子の製造・検査業務等について企業側から積極的に女子を受け入れられる職場環境作りをしている。企業側に求人票に具体的な業務内容と資格取得について記載してほしいことを要望した。
公務員試験対策について	3	今年度は、公務員希望者が昨年度に比べて多少、減少した。公務員試験に対して情報不足（学習方法等）が関係している。今年度、生徒の動きが今一步、鈍かったのでより一層指導に工夫が必要だった。過去の筆記試験内容と面接試験について個別指導した。また、集団面接、プレゼンテーション等についても同様に一から指導した。結果、難関な一般行政職に複数、合格した。	説明会に、参加が目立つようになったが、公務員の種類、仕事内容と、それに合った学習方法が見出せない生徒が目立ったので補習に積極的に参加するように促した。筆記試験同様、面接試験が重要視されているので、その対策が今後も必要である。（開始は2年次後半からを考えている。）
インターンシップについて	3	進路先が就職・進学にかかわらず進路（職種）選択に役立ったと思う。また受け入れ団体からも真面目に仕事に取り組んでいたと好評であった。しかし、書類作成等について指導することがあったので、作成時から提出時までの流れ期限等についても指導が必要。新規の受け入れ団体からの要請が多くなる傾向が見られた。	ここ数年、参加を希望する姿が多く見られた。今年度は同じ生徒が複数社参加を希望して実際に職種選択に役に立ったと思う。公務員・保育園等にも受け入れ可能な団体が増えてきた。

受付実践について	3	来校者の方の対応が初めての経験なので、言葉遣いや、一つひとつの動作にも気を遣い緊張をしている様子がうかがえた。来校者の方々には、新鮮でとても良いと好評であった。	生徒自身、受付の仕事について思っている以上に実施することが多く、気を遣い大変であることが理解した様子。
その他	2	選択科目の中で就職希望者を対象に、授業として展開したいと思います。(仮称)・・・ 「高校生からのビジネスマナー」特に4月から年末までの就職活動に必要な対策等について、1～2単位で実施し、項目ごとに理解度チェックを実施する。	内容については、就職活動において、申込み、入社試験、面接、必要書類の作成等、そして社会人としての心構え等を実施し、自覚を持たせたいと思っています。確認事項は、複数の教員で行う。

- ・民間内定者数 (男子) 71名  
(女子) 86名
- ・公務員内定者数 8名 市役所 (3名)  
県警 (2名)  
自衛官 (3名)